



社会福祉法人岡山博愛会様に対する

『114 ポジティブ・インパクト・ファイナンス』第2回モニタリングの実施について

百十四銀行（頭取 森 匡史）は、2024年1月20日（水）に実行した岡山支店取引先 社会福祉法人岡山博愛会（岡山県岡山市中区江崎 理事長 更井 哲夫）向け『114 ポジティブ・インパクト・ファイナンス^(※1)』に対し、2回目のモニタリングを実施しましたのでお知らせします。

ポジティブ・インパクト・ファイナンスにおけるモニタリングでは、融資実行時に発行したポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書に掲げる、お客さまのマテリアリティ（重要課題）を解決するための取組方針と、その達成度合いを測定するKPI（重要業績評価指標）に対し、進捗状況の確認と、KPI達成に向けた各種支援を実施します。本件モニタリングを通じて、お客さまのサステナブル経営を一層推進します。

当行は、今後も地域金融機関として、お客さまのSDGsやESGへの取組みを支援してまいります。

(※1) お客さまの企業活動が経済・社会・環境にもたらすインパクトを包括的に評価し、ポジティブインパクトの拡大とネガティブインパクトの緩和に向けた取組みを支援する融資。当行のポジティブ・インパクト・ファイナンス実施体制については、株式会社格付投資情報センターより、国連環境計画・金融イニシアティブ『UNEP FI』が制定したポジティブ・インパクト・ファイナンス原則に適合している旨のセカンドオピニオンを取得している。

記

■企業の概要

会社名 社会福祉法人岡山博愛会
所在地 岡山県岡山市中区江崎 456-2
業種 医療・福祉

【サステナブルな取組み】

岡山博愛会の生みの親、アリス・ペティ・アダムス先生が大切にした「全ての人を愛する神の愛」ラヴィング・オールの精神を全ての職員が胸に刻み、日々の業務にて実践しています。質の高い社会のニーズに対応した医療・介護の提供を通じ、皆さんに健康と安心を届けます。



※社会福祉法人岡山博愛会の「ポジティブ・インパクト・ファイナンス第2回モニタリング報告書」について、別紙をご参照ください。

以上

社会福祉法人岡山博愛会

ポジティブインパクトファイナンス

第2回モニタリング報告書



2026年2月12日



目次

1. 社会福祉法人岡山博愛会の企業概要.....	2
2. 目標達成に向けた進捗状況	3
3. 総評.....	5

1. 社会福祉法人岡山博愛会の企業概要

企業名	社会福祉法人岡山博愛会
創立	1891年
代表者名	理事長 更井 哲夫
基本金	2億6,000万円
従業員	517人（2025年12月末）
売上高	43億円（2025年3月期）
事業拠点	<p>岡山博愛会病院 〒702-8005 岡山市中区江崎456-2</p> <p>御幸町クリニック 〒703-8295 岡山市中区御幸町4-1</p> <p>介護医療院 みくに 〒702-8005 岡山市中区江崎456-2</p> <p>特別養護老人ホーム アダムホーム 〒702-8001 岡山市中区沖元502</p> <p>養護老人ホーム 岡山市友楽園 〒703-8282 岡山市中区平井4-13-33</p> <p>岡山博愛会居宅介護支援事業所 〒703-8296 岡山市中区さくら住座10-1</p> <p>デイサービスセンター ハレルヤ 〒703-8296 岡山市中区さくら住座10-1</p> <p>訪問看護ステーション サマリア 〒702-8005 岡山市中区江崎456-2</p> <p>訪問介護ステーション ホサナ 〒703-8282 岡山市中区平井4-13-33（養護老人ホーム 岡山市友楽園内 1F）</p> <p>看護小規模多機能型居宅介護 のぞみ 〒703-8295 岡山市中区御幸町4-1</p> <p>グループホーム まごと 〒703-8295 岡山市中区御幸町4-1</p> <p>岡山博愛会認定こども園 〒703-8295 岡山市中区御幸町4-12</p> <p>LOVING ALL - ラビングオール - 〒702-8005 岡山市中区江崎447</p>

2. 目標達成に向けた進捗状況

項目	内容
インパクト	カーボンニュートラルの推進～自然も愛す～
内容・対応方針	太陽光発電設備導入、空調設備更新 環境啓発イベントの開催、グリーンカーテンの設置
KPI (1)	①2030年までに使用電力の40%を再エネに（2023年1月現在：0%） ②環境啓発イベントを年13回開催
KPI進捗状況	①使用電力の再エネ比率：13.5%（2025年実績） 太陽光発電からの電力供給も問題なく安定的に推移している。空調設備の更新及び照明のLED化により、使用電力の削減に注力中。 ②キャンドルナイト、太陽光発電設備見学及び説明会を5回開催（2025年実績） 各種環境啓発イベントを継続して開催し、地域や関係者への啓発活動を実施している。 また、従業員一人ひとりの環境への意識醸成のためにスマート通勤おかやまへ参加し、環境負荷軽減の意識醸成を図っている。日々の朝礼や会議で情報発信することで、意識が定着している。

項目	内容
インパクト	笑顔になれるリハビリテーション
内容・対応方針	回復期リハビリテーション提供能力の強化 グループ内外との連携を活かした医療・介護サービスの提供
KPI (2)	①2030年までに独自の食事機能リハビリテーションAeE（activities to enjoy eating:当院独自の経口摂食機能回復リハビリテーション）のべ300人実施（2023年度実績：93人） ②2025年までに在宅リハビリテーション拠点を新設 (拠点設置後は、改めてKPI・目標を設定予定)
KPI進捗状況	①2024年度：123人（のべ216人） リハビリテーション、栄養管理、口腔ケアを一体的に行い、食事の質と生活の質の向上をめざしており、AeEの提供を積極的に行っている。 ②2025年9月、通所リハビリテーション「LOVING ALL」を新設。 専門性と最先端技術によるフィットネスマシンをリハビリ職員が一人ひとりに合った効果的なプログラムを作成し、リハビリを提供している。また、リハビリに加え往診や訪問看護などをセットにして提供することで在宅医療の充実を図っている。 【追加KPI】 2030年までに通所リハビリテーション（LOVING ALL）の利用者を年間12,600人とする (42人/日×300日間)

項目	内容
インパクト	病気を防いで笑顔を守る
内容・対応方針	重症化予防医療・リハビリテーションの提供 健康意識啓発活動の強化
KPI (3)	①2025年までにインフルエンザ・がん検診割引を行う会員制度設立 ②市民の健康増進や生活習慣改善を企図した公開講座「なんでも勉強会」・「おでかけ健康教室」をそれぞれ年間12件開催
KPI進捗状況	①2025年1月に「健康はつらつクラブ」を設立済。会員数92名（2026年1月現在） ②予防接種・検診割引に加えて2ヶ月に1回健康教室を開催。テーマ別の講演会とリハビリ体操を参加者と行うことで、健康意識の醸成を行っている。公開講座も継続的に開催中。

項目	内容
インパクト	安心して活躍できる職場づくり
内容・対応方針	健康経営強化と業務負担の見直しによるエンゲージメント向上 新規スタッフの採用と人員配置の適正化による業務効率化
KPI (4)	2025年までにホワイト500認証取得 (認証取得後は改めてKPI・目標を設定予定)
KPI進捗状況	健康経営優良法人認証取得に向けて、必要な社内規定を整備。 2026年の申請期間に申込予定。

項目	内容
インパクト	病院機能のDX化と信頼性向上
内容・対応方針	DX化による病院事務の効率化と確実化 病院機能評価取得による医療の品質向上・安定化と対外的評価の向上
KPI (5)	①2030年までに事務従事時間を2023年比30%削減 (2023年一人あたり年間残業時間13.82時間) ②2025年までに病院機能評価取得
KPI進捗状況	①2025年一人あたり年間残業時間12.15時間（2023年比▲1.67時間、12%削減） システム統合により、労務管理や入退室などのセキュリティ管理を一元化し、事務量削減につながっている。また、チーム医療を行っていくうえで多職種との連携を図り効率的な作業を行っている。教育体制、キャリアアップを重視し、法人内研修に加え、外部研修への参加を通し、各職員の成長を支えることで、全体の事務従事時間の削減を進めている。 ②病院機能評価については、マニュアルの整備や会議等の議事録を継続的に作成し評価取得体制を整えたが、取得を見送ることになった。

3. 総評

目標達成済みの目標や早期達成が見込まれる目標もあり、インパクトへの取組みは全体的に活発である。特に「元気になっておうちに帰ろう」をスローガンに掲げているリハビリテーションでは、生活するためのリハビリテーションを展開しています。2025年9月には通所リハビリテーション「LOVING ALL」を新設。機能回復訓練や健康づくりをサポートし、地域におけるリハビリ拠点としての機能強化と健康意識醸成に向けた動きが加速している。

環境負荷軽減についても、太陽光発電からの電力供給も問題なく安定的に推移しており、今後は空調設備の更新及び照明のLED化により、使用電力の削減に注力していくことを確認した。また、職員の意識醸成のためにスマート通勤おかやまへ参加するなど、法人全体での取り組みが見られる。

一方、健康経営優良法人認証取得や病院機能評価取得については、取得時期の遅れや取得の見送りと進捗は低調となっている。健康経営優良法人認証取得のための社内規定整備は完了しており、2026年の申請を予定している。病院機能評価取得は、評価取得体制を整えたが、取得を見送ることとなった。その中でもシステム統合による事務量削減や教育体制の充実により、事務従事時間を削減しており一人あたり年間残業時間も削減されている。百十四銀行も、地域への健康増進や健康意識の醸成のために当法人の健康教室や公開講座を案内するとともに、取引先企業への当法人会員制度の紹介等の支援を行う。各種ビジネスマッチングを通じた環境負荷軽減につながるサービスの紹介や、福利厚生支援、認証取得に向けた支援等、当法人のマテリアリティへの取組みを支援していく。